

議事録名：令和2年12月度 ホームヘルプサービス 介護医療連携推進会議			
代替え措置日	令和2年12月26日（土）	司会	書記 D
場 所	コロナ禍の為、書面開催で実施		
書面送付先	A 医師 民生委員：B 様 潤生園訪問看護ステーション：C 様 地域包括支援センターひがしとみず 居宅介護支援事業所：6 事業所 ご利用者・ご家族：11 名		
資 料	ホームヘルプサービス実績報告書（令和2年1月～12月） ホームケア通信 vol.1		以上
議題及び議事内容			議決事項
1. 活動報告 別紙のとおり令和2年1月～12月の活動実績の報告 2. 利用者・家族等からの要望・意見 ・早朝から夜間のお世話を頂き感謝しています。トイレの緊急コール時、ヘルパーが到着するまでの待ち時間が長い時があるので、なるべく早く訪問してくれるとありがたいです。 ⇒お待たせすることが生じてしまい申し訳ありません。 現在緊急コール対応は、コール時の派遣の状況や、訪問可能なヘルパーの移動距離・道路状況によってはお待たせする時間が長くなってしまうこともあります。その際は、おおよその訪問時間をお伝えし、少しでも早く訪問できるよう対応していきたいと思います。 3. 居宅介護支援事業所等からの要望・意見 ・看護師がヘルパー訪問時のご利用者の状態がスマケアからタイムリーに把握できるので連携が密に取れている。他の事業との連携はどうですか？ 今後、看取りのケースが増えると思います。ベテランヘルパーから看取り介護指導体制がとれるといいですね。看護師も協力します。 ⇒訪問看護事業所が訪問している場合は、スマケアでヘルパー訪問時の情報を共有の希望の有無を確認しております。その他、連絡ノートでの情報共有や、体調変化時等は早急に訪問看護事業所に報告をし、連携体制を整えています。 また、看取りケースに適切な介護支援が行えるよう、職員のスキルアップも図っていききたいと思います。			

・定期巡回で食事セットや服薬介助を行うことで、認知症の独居の方も自宅での生活が継続出来ています。日に日に認知症状が進行していく中で、心配なことが増えてきましたがケアマネジャーや看護師と協力して在宅での生活を保てるように支援していくことが大切だと思います。今後、独居看取りのケースも増えると思います、訪問看護も連携し対応していきます。

⇒独居での看取りケースでは、安否確認も含め頻回な訪問となる傾向にあります。訪問看護との連携を密にとりながら、自宅で安心して最後が迎えられるように対応をしていきたいと思っています。

・「ホームケア通信」のご利用者の声、参考になりました。看取りも行っているとのことで、具体的にどんなケースか知りたいです。

⇒ほぼ癌患者の方で、独居の方は約5~7回、同居家族のいる方は、約3回の訪問をしております。ケア内容は、主に安否確認・排泄介助・水分補給・口腔ケア・清拭・更衣・服薬確認・バイタル測定等を行っています。

次回開催予定：令和3年3月に書面開催予定

	部長	課長・係長・主任・副主任	一般